

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 30

2010年6月15日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。  
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は、井上翼研究室です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「第3回研究・開発成果発表会」で発表します
2. 「植物成長調節物質に関する技術説明会及び技術相談会」のご案内
3. 「バイオテクノロジー国際会議」に出展します
4. 「静岡大学第21回共同研究希望テーマ説明会」を開催します
5. 「CIC東京新技術説明会」で発表します

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

---

1. 「第3回 研究・開発成果発表会」で発表します

日時 2010年6月16日(水) 13:30~16:30

会場 アクトシティ浜松研修交流センター5階

主催 浜松工業技術支援センター、静岡大学ほか

静岡大学の発表内容

- ・「微生物資源の獲得とその利用」  
工学部物質工学科教授 金原和秀
- ・「複合材料の成形流動シミュレーションの開発」  
工学部機械工学科准教授 矢代茂樹
- ・「空気強度分布変調照明による高解像イメージング」  
若手グローバル研究リーダー育成拠点特任助教 臼杵深
- ・「光の高効率利用 - ナノプラズモニクス -」  
若手グローバル研究リーダー育成拠点特任助教 小野篤史
- ・「半導体量子ナノ構造におけるスピン光学効果の測定」  
若手グローバル研究リーダー育成拠点特任助教 伊藤哲

参加費 無料

申込/詳細 [http://www.iri.pref.shizuoka.jp/news/upfiles/20100524085834\\_552602.pdf](http://www.iri.pref.shizuoka.jp/news/upfiles/20100524085834_552602.pdf)

問合せ先 浜松工業技術支援センター 技術支援担当

TEL 053-428-4152 E-mail [hamamatsu@iri.pref.shizuoka.jp](mailto:hamamatsu@iri.pref.shizuoka.jp)

---

2. 「植物成長調節物質に関する技術説明会  
及び技術相談会」(非公開型)のご案内

日時 2010年6月28日(月) 14:00~

会場 静岡市産学交流センター (B-nest)

プログラム

挨拶 14:00~14:10

技術説明会 14:10~15:00

「植物成長調節物質の発見と作物生産への応用」  
静岡大学創造科学技術大学院 教授 河岸洋和

技術相談会(要事前予約) 15:10~

対象 本技術の実用化・事業化を検討される企業等の方  
参加費 無料  
定員 60名  
申込/詳細 <http://www.shizuoka.ac.jp/info/20100614.html>  
問合せ先 静岡大学イノベーション共同研究センター静岡オフィス  
TEL 054-238-4631 E-mail [ip-office@ocjr.shizuoka.ac.jp](mailto:ip-office@ocjr.shizuoka.ac.jp)

---

3. 「バイオテクノロジー国際会議」に出展します  
～併催：第9回国際バイオEXPO～

日時 2010年6月30日（水）～7月2日（金）  
会場 東京ビッグサイト 西展示棟  
内容

- カンキツ果実における $\beta$ -クリプトキサンチンの調節メカニズム  
7月1日16:10～ ACA-3 (農学部 加藤雅也准教授)
- 植物種子における油脂合成制御技術の開発  
7月2日14:30～ ACA-3 (理学部 木寄暁子准教授)
- 温度感応性ゲルを用いたマウス胎児肝幹細胞の単離精製と分化誘導  
7月2日15:10～ ACA-7 (理学部 塩尻信義教授)
- マイクロ波マンモグラフィの開発  
6月30日11:30～ ACA-7 (工学部 桑原義彦教授)
- 種特異的な生分解性除草剤の開発  
7月2日15:50～ ACA-3 (理学部 天野豊己准教授)
- 糖鎖を活用した阻害剤および分子認識プローブの機能設計  
7月2日11:30～ ACA-4 (碓氷泰市理事・副学長)

詳細/申込 <http://www.bio-expo.jp/jp/>  
問合せ先 静岡大学知的財産本部  
E-mail [bioexpo-s@ocjr.shizuoka.ac.jp](mailto:bioexpo-s@ocjr.shizuoka.ac.jp)

---

4. 「静岡大学第21回共同研究希望テーマ説明会」を開催します

日時 2010年7月27日（火）13:00～16:50  
会場 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館  
主催 静岡大学イノベーション共同研究センター  
内容 浜松キャンパスの若手教員による研究シーズ紹介

- ・ 亜臨界・超臨界流体による炭素繊維強化プラスチックのリサイクル  
岡島いづみ (工学部物質工学科助教) (仮)
- ・ 電子ビーム励起ナノ光源を用いた高分解能光学顕微鏡  
居波渉 (若手グローバル研究リーダー育成拠点特任助教)
- ・ 塑性加工用工具・素材の高精度な変形・損傷・破壊予測  
早川邦夫 (工学部機械工学科准教授)
- ・ セラミックスー金属生体適合性複合材料の開発  
藤井朋之 (工学部機械工学科助教)
- ・ 多孔質体における熱流動特性の解明とその応用研究  
柿本益志 (工学部機械工学科准教授)
- ・ インピーダンス負荷SAWセンサ～弾性表面波素子とインピーダンス  
変化型センサを組み合わせた省電力センサネットワーク構築の試み～  
近藤淳 (創造科学技術大学院教授)
- ・ プラズマ化学修飾を用いた生体高分子の固定化と高機能化  
荻野明久 (創造科学技術大学院准教授)
- ・ マイクロバブルを用いた新規有機合成手法の開発  
間瀬暢之 (工学部物質工学科准教授)
- ・ 増粘多糖類の熱変性・再性による増粘機構の解明  
松田靖弘 (工学部物質工学科助教)

- ・変形可能な移動機械群の基礎的研究  
益子岳史（工学部機械工学科助教）

参加費 無料

問合せ先 静岡大学イノベーション共同研究センター 担当 大隅

TEL 053-478-1413 E-mail tane8p@cjr.shizuoka.ac.jp

※詳細は、決まり次第イノベーション共同研究センターのホームページ  
<<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp>>に掲載します。

---

## 5. 「CIC東京新技術説明会」で発表します

日時 2010年7月30日（金）12:45～16:40

会場 キャンパス・イノベーションセンター東京（CIC東京）

主催 CIC東京、JST

静岡大学の発表 B会場 13:30～13:50

「ヒト型プロレニン受容体の大量生産方法と高度利用技術」

静岡大学創造科学技術大学院 教授 朴龍洙

詳細/申込 <http://jstshingi.jp/>

問合せ先 静岡大学知的財産本部 TEL 053-478-1414

---

## 《 静大ラボ紹介 -15- 》

工学部電気電子工学科 井上翼研究室

<http://cnt.eng.shizuoka.ac.jp/index-j.html>

---

工学部の電気電子工学科の建屋は昨年改修され、真新しさがとても気持ち良い。その4階の一室に笑顔が印象的な井上翼先生の研究室がある。カーボンナノチューブ（CNT）合成の研究が顕著だ。

カーボンといえば、一般には炭（炭素）。これが炭素の結晶構造になるとグラファイト（黒鉛）、ダイヤモンド、フラーレン、CNTとなる。CNTは1991年に日本の科学者によって発見された新素材で、軽量で優れた機械的特性、電気的特性、温度的特性、電子放出特性等をもつ。

井上翼先生は簡便な方法で配向長尺CNTアレイを大量合成する技術を独自に開発した。CNTアレイを紡績してファイバー状にしたり、シート状に加工することも可能だ。素材の軽量化かつ剛性化を必要とする分野への応用を期待したい。また、柔軟で高導電性素材として電気産業から繊維産業まで幅広い工業分野での応用も期待できる。

（記：産学官連携コーディネータ 齊藤久男）

---

## 《 みんなのコラム 》

去る2月に、中国（上海・重慶・香港）に行ってきました。

中国は、世界同時不況からいち早く抜け出し、今年はGDPで、日本を追い抜くことが確実であると言われていています。あちこちで進む高層ビルの建設や、高速道路網などのインフラ整備、さらに“火爆消費”とも称される商業施設の賑わいぶりなどを目の当たりにして、チャイナパワーの凄さに圧倒されました。

まさしく“百聞は一見に如かず”で、発展のスピード感や、スケールの大きさは、想像をはるかに超えるものであり、日本との経済成長の勢いの差を痛感せざるを得ませんでした。

今後、地域産業界の活性化には、これまで以上にグローバルな視点で、特にアジアをマーケットとしてとらえた戦略を構築していくことも不可欠なファクターです。産学連携の取組みにおきましても、“海外市場”や“世界標準”を、より一層重視した研究が進められることを期待したいと思います。

(記：静岡大学知的財産マネージャー、  
浜松商工会議所会頭、浜松信用金庫理事長、御室健一郎)

---

《 編集後記 》

今年5月にまとめられた「知的財産推進計画2010」の戦略の1つにも掲げられている国際標準化。これからは「知を使う知」の熾烈な国際競争となるため、戦略的な国際標準の獲得が喫緊の課題です。

静岡大学も、機を同じくして先日「忠実色を再現する画像システム」の標準化を目指し講演※を行いました。標準化を呼びかけた下平先生の発表には多くの方が賛意を表してくださり、その後グループセッションも行われました。

セカンドステージに入った静大の産学連携。イノベーション共同研究センターと知的財産本部は、皆様と静大の架け橋として、地域と共にグローバル展開を目指します。

※<http://jstshingi.jp/abst/2010/shizuoka/program.html#9>

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \*

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・  
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) まで  
お願いします。(↑送付の際は○欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター (IJRC)

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \*

Copyright (c) 2008-2010 Innovation and Joint Research Center,  
Shizuoka University. All rights reserved